

アルミ缶を障害福祉サービス事業所等へ譲渡する取り組み実施計画書

1. 目的

市職員等が飲み終えた缶ジュース等の空き缶のうち、アルミ缶のみを回収して障害福祉サービス事業所等（指定事業所や地域作業所等）に譲渡することで、作業訓練の拡大と工賃アップを図る。

2. 作業の流れ

- ① 市役所本庁舎分館各フロア（1～6 F）にリサイクル箱を設置する。
- ② 市職員や来庁者は、寄付の名目でリサイクル箱へアルミ缶を入れる。
- ③ 譲渡を受ける事業所は、定期的に市役所分館の各フロアを回り、リサイクル箱の中のアルミ缶を回収する。収集袋については各事業所で準備する。
- ④ 回収したアルミ缶は、回収日ごとに重さを計り、報告様式アルミ缶回収チェック表に回収量等を記載し、回収月の翌月に障害福祉課へ提出する。

3. 複数の事業所との調整

複数の事業所から譲渡（回収）の希望があった場合には、障害福祉課で調整を行い、月ごとに担当する事業所を決定する。

今回は、令和5年7月から令和6年6月までの担当事業所を決定する。